

# 令和元年度事業計画書

自 平成31年4月 1日  
至 令和 2年3月31日

一般社団法人静岡県紙業協会

## 1. 展望と基本方針

日本製紙連合会の「2019年紙・板紙内需試算報告」によると、プラス要因として、景気は引き続き緩やかな回復基調の中で実質GDPのプラス予想、改元に伴う広告・帳票改定等、選挙やスポーツイベントの開催、インバウンド効果の継続、脱プラスチックによる紙化の動きなどをあげる一方で、マイナス要因として、人口の減少・少子高齢化、情報・広告分野を中心に電子化の影響、包装の合理化、消費増税が挙げられている。

景気は、10月の消費増税の影響を受けつつも、全般として緩やかな成長が見込まれるが、紙・板紙については、2019年も基調に変化なく、グラフィック用紙の減少により、内需合計で前年を下回ると予想する一方で、衛生用紙、パッケージ用紙はプラスが期待されている。

本県の製紙業界においても、円安を背景とする原料価格や諸資材の高騰に加え、物流コストの大幅上昇など厳しい状況の中、引き続き生産コスト削減に向けた諸対策を講ずると共に、再生産可能な価格の改定に取り組む動きがみられる。

今年度においても、会員企業の成長と安定した操業が継続できるために、関係行政先に企業活動を取り巻く環境の改善などを働きかけるとともに、製品の安定供給と地域社会の振興を果たすため、以下の事業を実施する。

## 2. 主要事業

### (1) 研修事業の実施

- ◇ 人材確保、育成に向けた研修事業を実施する
- ◇ 労務関係や法改正等における研修事業を実施する

### (2) 家庭紙における研修事業

- ◇ 製紙原料2団体と情報交換会を開催する
- ◇ 家庭紙製品・原燃料等に関する情報を発信する
- ◇ 再生家庭紙の利用促進に関する事業を推進する

### (3) 紙パルプ産業に関する環境保全対策の推進

- ◇ ㈱富士環境保全公社の事業を推進する
- ◇ 田子の浦港に流入する排水測定結果の情報提供と水質維持への協力

- ◇ ごみ減量・リサイクル活動に取り組むと共に産業廃棄物の排出量減量を推進する
  
- (4) 地域社会との連帯強化
  - ◇ 地域主要行事に協賛・参加し連帯強化と交流を図る
  
- (5) 紙パルプ産業に関連する情報の収集と提供
  - ◇ 関係行政機関等からの周知事項や紙パルプに関連する事項について会員企業に情報提供するとともに関連情報の収集に努める
  
- (6) 再生紙利用の拡大
  - ◇ 再生紙需用の促進を図るとともに、「富土地域再生家庭紙利用促進協議会」の事業推進活動に積極的に参加する
  - ◇ 一般市民の方に資源リサイクル、再生紙利用拡大の重要性などを認識して頂き、循環型社会の形成環境保全の促進などに寄与する
  
- (7) 行政機関および関係団体との連携の強化
  - ◇ 行政機関、関係団体や教育機関等との連携強化を図る
  
- (8) 親睦・交流事業の開催
  - ◇ ボウリング大会及び懇親会等を通じて、会員相互の交流を図る

以上